

吉原議員

防災教育は？

教育委員長

充実させていく

【吉原】文科省の有識者会議で、東日本大震災を受け、公立学校の児童生徒が災害時に、自分で危機を回避する能力の育成やボランティア活動への理解を深める防災教育が必要であるとする提言があった。

また、すべての学校に地震、津波の避



難マニュアルの整備を求めている。

これを受けて、防災教育をどのように充実させていくのか。

【教育委員長】各学校で、学校安全計画を策定しているが、提言のとおりこれまでの防災教育の取り組みの見直しと充実が必要である。

県でも、「鳥取型防災教育の推進」を掲げ、大山西小学校



子どもたちに防災教育を

が指定された。その成果を町内の他の学校にも広げ、防災教育を充実させたい。

【吉原】東日本大震災では、保護者への引き渡しの際、40分もかかり大きな被害を出した小学校の例もある。規模や状況に応じたきめ細かいマニュアルが必要ではないか。

【教育委員長】さらに充実させていく。

吉原議員

観光戦略は？

町長

恵みの里づくり計画で

【吉原】大山町は、観光資源の豊富な町である。しかし、昔からある地域資源が生かされてきているとは言えない。

来年は、「古事記」

編さん1300年ということで、各自治体も地域振興に結び付けようと工夫をこらしている。

本町にも、神話に出てくるスセリ姫ゆかりの唐王神社もあり、観光関連の部署だけでなく、産業建設、教育など部署を横断

しての取り組みが必要ではないか。

【町長】JRグループと共同で、古事記関連のキャンペーンに取り組んでいく。

観光商工課の中の6次産業推進室を設置しており、本町の取り組みも進めている。

取市ヤカミ姫の八頭町などと横の連携もはかり流れを作ってはどうか。

理念を決めて、ストーリーを利用して、多くの人に来町していただき、経済の活性化につなげることが必要ではないか。

【町長】大山恵みの里づくり計画そのものが観光戦略であり、さらに進めていく。



スセリ姫ゆかりの唐王神社